



## ★行事予定★

### 「動き続けなければ、現状は変わらない。」

こんな寓話があります。

(寓話とは、擬人化した動物などを主人公に、教訓や風刺を織りこんだ物語のこと)

三匹のカエルが、生クリームが入った桶の中に落ちてしまった。一匹目のカエルは、「すべては神様のお考え次第だ」と言って何もしなかった。すぐに命が尽きた。

二匹目のカエルと三匹目のカエルは、足をばたつかせて必死にもがいた。ただただ同じ場所をかき回しては、沈み、浮き上がることを繰り返した。二匹目のカエルが叫んだ。「もうだめだ。どうせ死ぬのに、こんなに苦しい思いをするのはばかげている。不毛な努力の果てに、疲れ切って、死んでいくなんて割に合わない」。カエルはもがくのをやめ、白い液体に飲みこまれていった。

三匹目のカエルはこう考えた。「どうしたらいいんだ？死が近づいてきているのはわかっている。でも、僕は最後まで戦うぞ」。カエルはひたすら足をばたつかせ、同じ場所をかき回し続けた。すると、固いものが足に絡みつくようになった。なんと、カエルが生クリームをかき混ぜているうちに、生クリームがバターになったのだ。驚きながらもカエルはひとつ跳び、桶の縁に飛び乗り、うれしそうに鳴き声を上げながら帰っていった。

一匹目のカエルは何の努力もせず、いきなり自分の運命を神様に委ねた。二匹目と三匹目のカエルは、いきなり神様に自分の運命を委ねることをせずに、自分の力で何とか生き延びようと努力をした。二匹目と三匹目のカエルの違いは、あきらめのよかった者と、悪かった者の違いである。

三匹目のカエルは、他のカエルから見れば、「不毛な努力」と思われることを続けた。しかし、それは結果として、「不毛な努力」にはならなかった。

「天は自ら助くる者を助く」ということわざがあるように、**行動し続ける者が、最後には結果を得るのである。**



『もの見方が変わる座右の寓話』

戸田 智弘

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 始業式 シェイクアウト 訓練	4	5 実力テスト ⑥委員会 応援団会	6 生徒議会	7 有志発表 申込×切	8	9
10 有志発表 オーディション	11	12	13 応援団会 選挙管理 委員会	14 学校訪問 給食後下校	15	16
17 敬老の日	18 応援練習 週間	19	20	21 漢検申込 ×切日	22	23 秋分の日
24 振替休日	25 応援練習 週間	26	27 選挙管理 委員会	28 後期生徒会 役員選挙	29	30

左の話を読んで、あなたはどのようなことを感じましたか。

2学期は、3年生にとって、とても大切な4か月になります。自分の進路を自分で決定する。そのために、努力が必要なことは、皆も十分理解しているはずですが。理解はしていても、行動に移すことができなければ、最後まで粘り強く行動し続けなければ、自分の望む道に進むことはできないのです。

この話にもあるように、自分を信じて勉強し続けましょう。日常生活の中で、自ら気づき、行動し続けましょう。目先の結果ではなく、未来の自分のために行動する。あなたが行動し続ける限り、可能性はどんどん広がっていくのです。勉強に、行事に、そして、日常生活のさまざまな活動に。……3年生全員が、行動し続ける人であってほしいと願っています。

3年A組担任 都甲 涼子